

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

第99回全国高校野球和歌山大会

球児の夏

紀南10校の横顔

⑤

【田辺工業】

2年前のベスト4以上を

昨年夏以降に練習試合を100試合ほどこなした。当初は負けが多かったが、冬を越えて接戦をものにする粘りが出てきた。特に力を入れてきたのは打撃。主砲の赤堀を中心に筋力アップに取り組み、チームで本塁打が増えた。チームの俊足で主将の楠本が出塁し、3番赤堀の長打が勝負強い4番竹内をかえすパターン以外にも、打順に関係なく得点が狙えるようになった。

エースの中尾は変則的な上手投げから右打者のインコースをつく球で、打たせて捕るピッチングを心掛ける。遊撃の竹内がリリーフすることもある。守りはけがで欠場していた捕手の黒田が間に合えばより安定する。遊撃の竹内がリリーフすることもある。守りはけがで欠場していた捕手の黒田が間に合えばより安定する。

2年前の夏の和歌山大会ではベスト4に進出した。

責任教諭	山本 和宏	出身校
監督	稲垣 友輔	学年
1.	中尾 大祐	③ 東陽
2.	佐野 夏威斗	③ 明洋
3.	下地 千真	③ 明洋
4.	木下 翔太	③ 笠陽
5.	前田 航輝	② 東陽
6.	竹内 幹	② 新庄
7.	森 歩夢	③ 東陽
8.	楠本 迅一朗	③ 東陽
9.	赤堀 圭音	③ 上秋津
10.	恵中 健伸	③ 高洋
11.	芝崎 鼓太	② 明洋
12.	黒田 拓巳	② 白濱
13.	仲本 倫盛	② 明洋
14.	竹田 伊歩希	② 明洋
15.	中平 智也	② 明洋
16.	太田 翔斗	② 大塔
17.	坂本 勇伸	② 上秋津
18.	大倉 翔太	② 大塔
19.	久保 響暉	① 高城



その記憶が今も強く残る3年生8人の胸には「2年前以上の結果を」という思いがある。

楠本迅一朗主将の話 まずは初戦を突破し、ベスト4以上を目指す。後輩たちが夏の舞台で緊張しないように声を出していきたい。

【昨春秋以降の結果】
 新人戦Ⅱ2回戦▽秋季近畿県予選Ⅱ1次予選2回戦▽春季近畿県予選Ⅱ2回戦